

# 住民の健康と命を守るために 「原発ゼロ」をめざす意見書採択を 求める請願など不採択

住民の健康と命を守るために「原発ゼロ」をめざす意見書採択を  
求める請願は、賛成少数で不採択になりました。また、平成23年12  
月議会で継続審議となっていた、あま市非核平和都市宣言に関す  
る請願も賛成少数で不採択となりました。

**住民の健康と命を  
守るために「原発ゼ  
ロ」をめざす意見書  
採択を求める請願**

▽請願項目

原発から速やかに撤退  
し、再生可能エネルギーの  
開発と普及を求める意見書  
を、関係機関に提出して  
ください。

▼賛成討論

福井県の若狭湾の原発事  
故が起きれば、今の時期を  
考えると、北西の風に乗っ  
て放射性物質が、このあま  
市にも飛んでくることは明  
らかだと思ふ。

原発は、一たん事故を起  
こせば放射性物質が放出さ  
れ、どこまでも、どこまで  
も広がっていく危険があ  
る。また、将来にわたって  
危害を及ぼしていく可能性  
があるものであり、地域社  
会の存続さえ危うくなっ  
ている。

そして、放射能の汚染に  
よる影響というものは長期

にわたり、とりわけ子供た  
ちの健康被害が心配される  
わけである。

今、必要なことは、原発  
からの撤退と並行して、自  
然エネルギー、再生可能エ  
ネルギーと低エネルギー社  
会に向けて取り組むこと  
である。

▼反対討論

日本のエネルギー問題を  
考える上で、速やかに原発  
をゼロにしろというのは少  
し拙速過ぎる。

原発に依存しないエネル  
ギー政策への転換を早急に  
検討していくべきという点  
については同じである。

本請願書の請願項目に  
は、原発から速やかに撤退  
と書かれている。しかし、  
これまで原発による電力供  
給を支えてきた地域に、他  
の産業基盤の育成を含めた  
さまざまな手立てを講じて  
いくことなどの配慮も必要  
であると考える。

これらの課題が解決され  
ていない今、速やかに撤退

しろといった拙速な意見書  
の提出については反対であ  
る。

**あま市非核平和都市  
宣言に関する請願書**

▽請願趣旨

我が国は、1945年に  
広島・長崎で、人類史上初  
めての原爆の被害を受け  
た。1954年にはアメリ  
カのビキニ環礁での水爆実  
験による被害を受けた。核  
兵器による3度の被害を受  
け、放射能の危険性を、身  
を持って体験したわが国  
が、こともあろうに福島  
の原発事故により、自国の  
国民と国土のみならず、近  
隣諸国や地球環境に害を与  
える事態を生んでいる。

核兵器全面禁止を願う  
人々の願いを実現するため  
に、全世界の多くの自治体  
が、非核平和宣言をしてい  
る。愛知県内でも、多くの  
自治体が宣言を行っており、  
あま市でも同様の趣旨

で宣言していただくよう請  
願する。

▼賛成討論

あま市で住民の皆さんが  
平和で安全に生きる権利を  
保障するその第一歩とし  
て、宣言をしていくことが  
大切。

あま市平和体験学習で広  
島市を訪れた中学生が報告  
の中で、原爆による放射能  
で今でも苦しんでいる人が  
いると語っているように、  
子供たちは、確かな目で今  
の社会を見つめている。こ  
うした未来を担う子供たち  
にこたえていくためにも、  
この請願書を採択し、あま  
市非核平和都市宣言を当局  
に強く求めていくことではな  
いか。